

学校自己点検・評価結果（2025年度）

1. 学校自己点検・自己評価

専修学校の学校評価は、平成19年の学校教育法および同施行規則の改正により、①自己評価の実施・結果の公表に関する義務、および②学校関係者評価の実施・結果の公表に関する努力義務が課されています。

2. 自己点検・自己評価についての取り組み

2015年度より6年間は、舟島なをみ氏の評価ツールと他校の評価項目を参考に学校独自の50項目の評価項目を作成し自己評価を実施してきました。しかし、評価項目の意味を確認すると、重複しているものや、意味の理解に難解なものがある事実に行き着きました。そこで、2021年度からは舟島なをみ氏の評価ツールと文部科学省が規定する「専修学校における学校評価ガイドライン」を本校に当てはめ、52項目のものを作成し実施しています。

学校関係者評価は、2019年度から実施を開始しています。

3. 教員の評価項目の解釈差異

教員個々の解釈により差が生じないように、項目の理解を図る教職員会議を設けた上で自己評価を実施しました。

4. 自己評価結果（別紙）

自己点検・自己評価項目は、I 教育理念・目的 II 管理運営 III 教育活動 IV 学修成果 V 学生支援 VI 教育環境 VII 学生の募集と受け入れ VIII 財務 IX 法令用の順守 X 社会貢献・地域貢献 の10の評価内容に分類し、52の小項目評価について実施しています。評価は4段階とし、4 適切、3 ほぼ適切、2 やや不適切、1 不適切の評価となります。

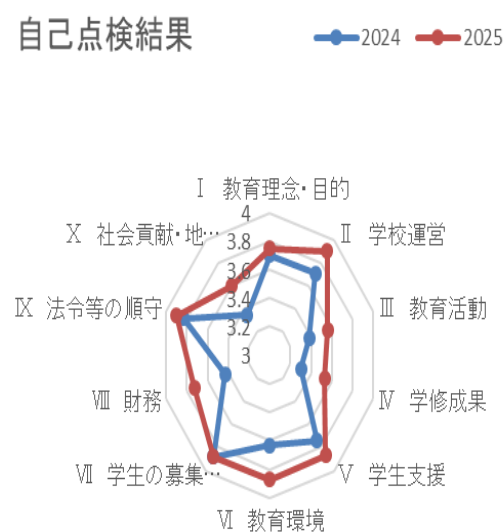
2025年度の各内容における総平均点は以下の結果となりました。

2025年度評価結果

3.5以下赤字

評価 大項目	2024	2025
I 教育理念・目的	3.70	3.75
II 学校運営	3.71	3.90
III 教育活動	3.38	3.56
IV 学修成果	3.30	3.53
V 学生支援	3.74	3.87
VI 教育環境	3.63	3.87
VII 学生の募集と受け入れ	3.88	3.88
VIII 財務	3.43	3.73
IX 法令等の順守	3.83	3.90
X 社会貢献・地域貢献	3.35	3.60

自己点検結果



I. 教育理念・目的

点検・評価項目		4適切 3ほぼ適切 2やや不適切 1不適切	
		2024	2025
1	教育理念・目的・育成人材像は、定められているか	4.0	4.0
2	学校における看護教育の特色は明確であるか	3.8	3.9
3	社会のニーズ等を踏まえた学校の将来構想を抱いているか	3.6	3.7
4	学校の理念・目的・育成人材像・特色などが、学生・保護者等に周知されているか	3.4	3.4
平均		3.70	3.75

I. 教育理念・目的

本校の教育理念・目的および育成人材像は明確に定められており、シラバス、学校ホームページ、学校だより等を通じて適切に公開されている。また、保護者会などの機会を活用し、理念の周知に努めている。看護教育の特色として、リフレクションの重視、社会人基礎力の育成、急性期病院での実習を中心とした教育体制が確立されている。さらに、急性期医療や在宅医療の需要増加、18歳人口減少など社会情勢を踏まえた将来構想を有している。一方で、理念の理解が学生・保護者に十分浸透しているとは言えず、周知方法の改善が求められる。

〔課題と解決策〕

教育理念に基づく人材育成を継続するため、リフレクション力の強化が必要である。保護者への理解浸透が不十分であり、説明会や定期的な情報発信など、多様な周知手段の導入が求められる。また、母体病院の将来構想との連動を強化し、人口減少に対応した入学者確保策を検討する必要がある。

II. 学校運営

点検・評価項目		4適切 3ほぼ適切 2やや不適切 1不適切	
		2024	2025
5	目的等に沿った運営方針が策定されているか	3.9	4.0
6	理念等を達成するための事業計画が策定されているか	3.8	4.0
7	運営組織や意思決定機能は、規則等において明確にされているか、有効に機能しているか	3.9	4.0
8	人事、給与に関する規定等は整備されているか	3.5	3.9
9	教務・財務等の組織整備など意思決定システムは整備されているか	3.9	3.8
10	教育活動等に関する情報公開が適正にされているか	3.9	4.0
11	情報システム化等による業務の効率化が図られているか	3.1	3.6
平均		3.71	3.90

II. 学校運営

本校では、年度初めに学校運営方針と重点課題を策定し、教職員間で共有しながら取り組みを進めている。事業計画は毎年立案され、母体病院の看護局と連携して実施されている。運営組織や意思決定機能は規定により明確化され、適切に機能している。人事・給与規定、財務管理も整備され、情報公開も適正に行われている。ICT化も進み、Slackやインフォクリッパーの導入により業務効率化が図られている。

〔課題と解決策〕

教職員と事務員の業務量が多く、付帯業務のスリム化が求められる。ICT活用には個人差があり、研修の充実が必要である。広報力強化のため、SNS運用体制の更なる推進も検討すべきである。

Ⅲ. 教育活動

点検・評価項目		4適切 3ほぼ適切 2やや不適切 1不適切	
		2024	2025
12	教育理念に沿った教育課程の編成・実施方針等が策定されているか	3.7	3.9
13	修業年限に対応した教育到達レベルや学習時間の確保は明確にされているか	3.4	3.6
14	カリキュラムは体系的に編成されているか	3.7	3.7
15	キャリア教育・実践的な職業教育の視点に立ったカリキュラムや教育方法の工夫・開発などが実施されているか	3.1	3.3
16	授業評価の実施・評価体制はあるか	3.7	3.8
17	成績評価・単位認定、進級・卒業認定の基準は明確になっているか	4.0	3.9
18	目標とする資格・免許取得の指導体制はあるか	3.5	3.8
19	資格・要件を備えた教員を確保しているか	2.1	2.5
20	関係分野における先端的な知識・技能等を習得するための研修や教員の指導力育成などの資質向上のための取り組みがおこなわれているか	3.2	3.5
	平均	3.38	3.56

Ⅲ. 教育活動

教育理念に沿った教育課程が編成され、新カリキュラム導入後も見直しが進められている。教育到達レベルはシラバスに明記されているが、学習時間の明確化は十分ではない。授業研究や学校間ピアレビューは定着しているものの、教員間の研鑽には課題がある。国家試験対策は機能しており、合格率は全国平均を上回っている。一方で、専任教員数が不足し、教員の負担が大きい状況が続いている。

〔課題と解決策〕

新カリキュラム導入から4年が経過し、教育内容の総合的の評価が必要である。授業評価の結果を迅速に改善へ反映させる仕組みを強化していく必要がある。教員養成講習の受講促進を図る必要がある。学生の技術不足への対応として、補講やシミュレーション教育の充実も求められる。

Ⅳ. 学修成果

点検・評価項目		4適切 3ほぼ適切 2やや不適切 1不適切	
		2024	2025
21	就職率の向上が図られているか	3.7	3.9
22	資格取得率の向上が図られているか	3.7	3.6
23	退学率の低減が図られているか	3.0	3.4
24	卒業生・在校生の社会的な活躍及び評価を把握しているか	2.8	3.2
	平均	3.30	3.53

Ⅳ. 学習成果

本校の就職率は基本的には100%維持されており、国家試験合格率も高水準で推移している。退学率は年度により変動があるものの、2025年度は大幅に減少している。しかし、退学理由には低学力や精神的負担が背景にあるケースも多く、個別支援の重要性が増している。卒業生の活躍状況は母体病院に限れば把握できるが、その他の進路については把握が難しい。

〔課題と解決策〕

低学力者への学習支援の強化、入学者のミスマッチ防止、メンタルケア体制の充実が必要である。また、卒後3年程度までの追跡調査の仕組みづくりも検討すべきである。

V. 学生支援

点検・評価項目		4適切 3ほぼ適切 2やや不適切 1不適切	
		2024	2025
25	進路・就職に関する支援体制は整備されているか	3.9	3.9
26	学生相談に関する体制は整備されているか	3.8	3.9
27	学生に対する経済的な支援体制は整備されているか	3.9	4.0
28	学生の健康管理を担う組織体制はあるか	3.9	4.0
29	学生住宅の設置など生活環境の支援は行われているか	3.7	3.7
30	保護者と適切に連携しているか	3.9	3.8
31	卒業生への支援体制はあるか	3.6	3.8
32	社会人のニーズを踏まえた教育環境が整備されているか	3.6	3.7
33	高校・高等専修学校との連携によるキャリア教育・職業教育の取り組みが行われているか	3.4	4.0
	平均	3.74	3.87

V. 学生支援

進路・就職支援体制は整備され、助産師学校への進学支援も行われている。学生相談体制として定期面談やスクールカウンセラーの配置があるが、自主的な利用は少ない。経済的支援は非常に充実しており、奨学金制度や修学支援制度が整っている。学生住宅は全希望者が入居できているが、老朽化や規定違反が課題である。保護者との連携は適切に行われ、卒業生への支援も看護局と協力して実施している。

〔課題と解決策〕

学生住宅の規律徹底や共用部分の整備が必要である。相談体制の利用促進のため、カウンセラーの周知強化が求められる。進学希望者の適性判断についても、母体病院の人員確保と調整しながら検討する必要がある。

VI. 教育環境

点検・評価項目		4適切 3ほぼ適切 2やや不適切 1不適切	
		2024	2025
34	施設・設備は教育上の必要性に十分対応できるよう整備されているか	3.4	3.7
35	学外の実習施設、研修等について十分な教育体制を整備しているか	3.5	4.0
36	防災に対する体制は整備されているか	4.0	3.9
	平均	3.63	3.87

VI. 教育環境

施設設備は概ね教育上の必要性に対応しているが、一部に老朽化が見られる。ネット環境は整備され、日常的な管理も適切に行われている。実習施設との連携は良好で、学生の実習評価も高い。防災訓練は年間計画に組み込まれ、災害看護教育とも連動して実施されている。

〔課題と解決策〕

学生の体格に対して机が小さく、電子教科書の使用に不便が生じている。設備更新の優先順位を明確にし、段階的な改善を進める必要がある。

Ⅶ. 学生の募集と受け入れ

点検・評価項目		4適切 3ほぼ適切 2やや不適切 1不適切	
		2024	2025
37	学生募集活動は、適正に行われているか	3.8	4.0
38	学生募集活動において、教育成果は正確に伝えられているか	3.8	3.7
39	入学選考基準を明確化し、適正に運用しているか	4.0	4.0
40	学納金は妥当なものとなっているか	3.9	3.8
	平均	3.88	3.88

Ⅶ. 学生の募集と受け入れ

SNS、ガイダンス、オープンキャンパス、高校説明会など多様な広報活動により、受験者数の減少を防いでいる。教育成果は募集要項や説明会で正確に伝えられ、入学選考基準も明確で適正に運用されている。学納金は地域で最も安価な水準であり、学校の魅力の一つとなっている。

〔課題と解決策〕

広報活動が入学者につながっているかの検証が不十分であり、効果測定の実施が必要である。教員の負担軽減のため、広報活動の分担やSNS更新体制の整備が求められる。

Ⅷ. 財務

点検・評価項目		4適切 3ほぼ適切 2やや不適切 1不適切	
		2024	2025
41	中長期的に学校の財務基盤は安定しているといえるか	2.7	2.9
42	予算・収支計画は有効かつ妥当なものとなっているか	3.6	4.0
43	財務について適正に執行管理が行われているか	3.6	4.0
44	財務情報公開の体制整備はできているか	3.6	4.0
	平均	3.38	3.73

Ⅷ. 財務

本校の財務基盤は母体病院の経営状況に大きく左右される。母体病院は赤字運営が続いており、財務面の不安定さが課題である。一方、予算・収支計画は適正に策定され、財務管理も適切に行われている。財務情報はホームページで公開されている。

〔課題と解決策〕

財務の安定には入学者数の確保が不可欠であり、少子化に対応した募集戦略の強化が求められる。また、外部補助金の活用や地域連携事業の検討など、多角的な財源確保策が必要である。

IX. 法令等の遵守

点検・評価項目		4適切 3ほぼ適切 2やや不適切 1不適切	
		2024	2025
45	法令や専修学校設置基準等を遵守し、適正な学校運営がなされているか	3.6	3.5
46	個人情報に関し、その保護のための対策がとられているか	3.6	3.9
47	自己評価の実施と問題点の改善を行っているか	3.8	4.0
48	自己評価結果を公表しているか	4.0	4.0
49	学校関係者評価の実施体制を整備し評価を行っているか	4.0	4.0
50	学校関係者評価結果を公表しているか	4.0	4.0
平均		3.83	3.90

IX. 法令遵守

法令や設置基準を遵守し適正な学校運営が行われているが、専任教員数については毎年改善を求められている。個人情報保護は適切に管理されており、内部監査も予定されている。自己評価および学校関係者評価は毎年実施され、結果はホームページで公開されている。

〔課題と解決策〕

専任教員数の確保と定着が最重要課題である。個人情報保護については、内部監査の結果を踏まえ、継続的な改善を行う必要がある。

X. 社会貢献・地域貢献

点検・評価項目		4適切 3ほぼ適切 2やや不適切 1不適切	
		2024	2025
51	学校の教育資源や施設を活用した社会貢献・地域貢献を行っているか	3.7	3.6
52	学生のボランティア活動を奨励、支援しているか	3.0	3.6
平均		3.35	3.60

X. 地域貢献・社会貢献

献血の実施や近隣小学校への施設提供、学校祭の開催など、地域貢献活動が行われている。学生のボランティア活動も拡大しつつあるが、学生の自主的な活動の把握は十分ではない。

〔課題と解決策〕

地域住民が参加しやすい学校祭などを活用し、学生による健康支援活動を展開することが望まれる。ボランティア活動の場をさらに拡大し、活動の継続と活性化を図る必要がある。また、参加状況の把握や記録の仕組みづくりも課題である。

2025年度 学校関係者評価報告 (旭中央病院附属看護専門学校)

旭中央病院附属看護専門学校は、「2025年度学校自己点検・自己評価」の結果をもとに、学校関係者評価を実施いたしましたので、以下のとおり報告いたします。

1. 日 時 2026年3月23(月) 14:00~15:30

2. 場 所 旭中央病院附属看護専門学校 会議室

3. 出席者

1) 評価委員:5名

①関連業界等関係者

地方独立行政法人総合病院国保旭中央病院 総務人事課長

地方独立行政法人総合病院国保旭中央病院 看護局長

②卒業生

旭中央病院附属看護専門学校 同窓会長

③教育に関し知見を有する者

旭中央病院附属看護専門学校 教育学講師

④在学生

旭中央病院附属看護専門学校 自治会代表

2) 学校関係者

旭中央病院附属看護専門学校 学校長

旭中央病院附属看護専門学校 事務長

旭中央病院附属看護専門学校 教務長

旭中央病院附属看護専門学校 実習調整者

旭中央病院附属看護専門学校 主任教員

4. 2025年度 学校関係者評価結果

※評価は4段階(適切、ほぼ適切、やや不適切、不適)

1. 教育理念・目的

	評価項目	全体評価結果
一 教育 理念 ・ 目 的	1 教育理念・目的・育成人材像は、定められているか	適切:7 ほぼ適切:3
	2 学校における看護教育の特色は明確であるか	
	3 社会のニーズ等を踏まえた学校の将来構想を抱いているか	
	4 学校の理念・目的・育成人材像・特色などが、学生・保護者・に周知されているか	
意見等	<ul style="list-style-type: none"> ・メタ認知能力の育成を軸に取り組んだことは大変評価される。 ・学習支援で KPT-R とリフレクションの導入も素晴らしい。教員のアドバイス等の支援が大事なキーポイントとなる。 ・社会人基礎力とリフレクションのキーワードの強化、可視化、学校の売りとして打ち出していく。 ・理念「豊かな人間性を育む」の具体策を確認する必要がある。 ・五年に一度は職員会議でカリキュラムを見直しましょう。 ・教育理念、目的、育成人材像の明確化がされている。 ・今年度より二年生保護者会が実施され、保護者との共有機会も増えている。 ・保護者への理解、浸透がなされると良いと思う。 	

2. 学校運営

	評価項目	全体評価結果
Ⅱ 学校運営	5 目的等に沿った運営方針が策定されているか	適切：7 ほぼ適切：3
	6 理念等を達成するための事業計画が策定されているか	
	7 運営組織や意思決定機能は、規則等において明確にされているか、有効に機能しているか	
	8 人事、給与に関する規定等は整備されているか	
	9 教務・財務等の組織整備など意思決定システムは整備されているか	
	10 教育活動等に関する情報公開が適正にされているか	
	11 情報システム化等による業務の効率化が図られているか	
意見等	<ul style="list-style-type: none"> ・ ICT化と同時にシステムの活用による業務効率化につなげられるとよい。 ・ ICTシステムによって効率化すべき業務が整理明確にされるとよい。 ・ 個人情報のさらなる管理、ICT化に伴う業務のスリム化は改善の余地がある。 ・ 教職員と事務の業務量が多く、付帯業務のスリム化と同様に学生と向き合う時間の確保が必要になるので、創意工夫をしてその時間を作り出すことが大切になると思う。 ・ 年度の初めの学校運営方針と重点課題に沿って取り組んでいるが、付帯業務のスリム化は引き続きの課題といえる。 	

3. 教育活動

	評価項目	全体評価結果
Ⅲ 教育活動	12 教育理念に沿った教育課程の編成・実施方針等が策定されているか	適切：3 ほぼ適切：7
	13 修業年限に対応した教育到達レベルや学習時間の確保は明確にされているか	
	14 カリキュラムは体系的に編成されているか	
	15 キャリア教育・実践的な職業教育の視点に立ったカリキュラムや教育方法の工夫・開発などが実施されているか	
	16 授業で評価の実施・評価体制はあるか	
	17 成績評価・単位認定、進級・卒業認定の基準は明確になっているか	
	18 目標とする資格・免許取得の指導体制はあるか	
	19 資格・要件を備えた教員を確保しているか	
20 関係分野における先端的な知識・技能等を習得するための研修や教員の指導力育成などの資質向上のための取り組みがおこなわれているか		
意見等	<ul style="list-style-type: none"> ・ 新カリ導入もまずは順調といえそう。より良くブラッシュアップしていくための方策は必要。そのためにも人材確保と定着ができるとうい。 ・ 授業評価の結果を迅速に改善に反映させるための変革力、変える力と勇気の養成をどのようにするのか、具体策を考えることが必要である。 ・ 学生アンケートの有効性、活用性は課題が残る。 ・ 教員確保に努力してはいるが、結果につながっていないのが気になる。 ・ 専任教員の確保に向け、計画的に進めていく必要があると思う。 ・ 切磋琢磨する姿がつか伝わってこない。 ・ 国家試験対策強化中である。結果に伴う計画を立案していく。 	

4. 学修成果

	評価項目	全体評価結果
Ⅲ 学修成果	21 就職率の向上が図られているか	適切：3 ほぼ適切：7
	22 資格取得率の向上が図られているか	
	23 退学率の低減が図られているか	
	24 卒業生・在校生の社会的な活躍及び評価を把握しているか	
意見等	<ul style="list-style-type: none"> ・国試合格率 100%であり、成果が出ている。 ・退学率の低減に努力して効果が得られている。 ・退学率も減少し、個別支援が有効に働いていると思う。 ・国試に合格して入職できるように対策を強化していく。 ・メンタルケア体制の充実も良い効果につながると思う。 ・メンタルケア体制の充実で、教員の研修とスクールカウンセラーの活用が課題である。 ・低学力者への支援の工夫、入学者のミスマッチ防止は引き続きの課題。 ・学校カウンセラーの利用判断に迷うケースもある。 ・卒後の支援体制のさらなる強化が必要になる。 ・個別指導が重要となるが、教員の負担も否めない。 ・表彰に値する活動に対して表彰する機会を作りたい。 	

5. 学生支援

	評価項目	全体評価結果
Ⅳ 学生支援	25 進路・就職に関する支援体制は整備されているか	適切：5 ほぼ適切：5
	26 学生相談に関する体制は整備されているか	
	27 学生に対する経済的な支援体制は整備されているか	
	28 学生の健康管理を担う組織体制はあるか	
	29 学生住宅の設置など生活環境の支援は行われているか	
	30 保護者と適切に連携しているか	
	31 卒業生への支援体制はあるか	
	32 社会人のニーズを踏まえた教育環境が整備されているか	
33 高校・高等専修学校との連携によるキャリア教育・職業教育の取り組みが行われているか		
意見等	<ul style="list-style-type: none"> ・学生住宅の老朽化への対応は可能な範囲から。 ・学生寮の老朽化はあるが、格安である点を考慮してほしい。光熱費削減の方策は必要。 ・学生住宅は整備が必要である。 ・学生住宅の共同生活上のルールに対する規定違反に対しては、保護者の理解も必要だと思います。保護者も含めた規律の徹底が必要。 ・学生住宅の規律徹底で、ならぬものはならぬ規則重視と、学生に折に触れて伝える努力が必要である。根気のいる働きかけ、負けてはダメだと思う。 ・進学支援の適正についての判断基準は必要である。 ・保護者との連携を強化し、さらなる支援の強化は必要となる。 ・メンタルな問題を抱えている学生をサポートする体制整備が望まれる（カモミューを利用する考えもあり）。 	

6. 教育環境

Ⅰ		評価項目	全体評価結果
教育環境	34	施設・設備は教育上の必要性に十分対応できるよう整備されているか	適切：7
	35	学外の実習施設、研修等について十分な教育体制を整備しているか	ほぼ適切：3
	36	防災に対する体制は整備されているか	
意見等		<ul style="list-style-type: none"> ・ iPad 使用に合わせ机を大きくする必要があるかは検討が必要となる。創意工夫で補えればこれで良い。 ・ 学習机への小ささ、硬さもあり、90 分の座学が困難な状況もありそう。 ・ 電子教科書とワークシートが増えると机は小さいのかもしれない。 ・ 学習環境を整備することは重要だと思います。 ・ 話し合いで出た行政との調整も視野に入れて進めていけると良いと思います。 ・ 防災訓練も毎年実施されている。 	

7. 学生の募集と受け入れ

Ⅱ		評価項目	全体評価結果
受学生募集と受け入れ	37	学生募集活動は、適正に行われているか	適切：6 ほぼ適：4
	38	学生募集活動において、教育成果は正確に伝えられているか	
	39	入学選考基準も明確化し、適正に運用しているか	
	40	学納金は妥当なものとなっているか	
意見等		<ul style="list-style-type: none"> ・ 多様な広報活動により、受験者数を維持することができている。 ・ 計画的な募集活動を継続していく必要がある。 ・ オープンキャンパス、進路指導担当教員説明会、ホームページなどによる情報配信はできており、効果が実感できる。 ・ 安価な授業料と学生住宅は魅力であると思う。 ・ SNS 更新体制の整備が進められていると、良い結果につながる可能性があると思う。 ・ SNS のメリット、デメリットはよく考えた方が良い。 ・ 病院全体の広報との連携の見直しが必要であると思う。 	

8. 財務

Ⅲ		評価項目	全体評価結果
財務	41	中長期的に学校の財務基盤は安定しているといえるか	適切：5 ほぼ適切：5
	42	予算・収支計画は有効かつ妥当なものとなっているか	
	43	財務について適正に執行管理が行われているか	
	44	財務情報公開の体制整備はできているか	
意見等		<ul style="list-style-type: none"> ・ 法人の課題ですが、学校の予算執行管理は適切と思う。 ・ 大病院の赤字影響は大きいですが、収益計画は適正に管理されている。 ・ 病院の状況に左右されている。また、大病院の赤字運営の影響がある。学校としてできることを適切に行っていく必要がある。まずは節水節電から。 	

9. 法令等の順守

		評価項目	全体評価結果
☒ 法令等の順守	45	法令や専修学校設置基準等を遵守し、適正な学校運営がなされているか	適切：4 ほぼ適切：6
	46	個人情報に関し、その保護のための対策がとられているか	
	47	自己評価の実施と問題点の改善を行っているか	
	48	自己評価結果を公表しているか	
	49	学校関係者評価の実施体制を整備し評価を行っているか	
	50	学校関係者評価結果を公表しているか	
意見等	<ul style="list-style-type: none"> ・法人基準に応じた順守運営ができています。 ・専任教員の確保の最大課題について、戦略の強化を図る必要があると思う。 ・個人情報保護の重要性をしっかりと教育しておくことは大事。 ・個人情報保護については、学生と教員間の保護には課題がある。 ・今回、会議に参加させていただき、新しく知ったことも多かったので、ここで留まらず、学生にもさらに良い学校づくりをしていけるように自治会として働きかけたいと思います。 ・コンプライアンスはOK。 ・教員一人一人のあくなき授業改善の努力も必要である。 		

10. 社会貢献・地域貢献

		評価項目	全体評価結果
☒ 社会貢献・地域貢献	51	学校の教育資源や施設を活用した社会貢献・地域貢献を行っているか	適切：3 ほぼ適切：7
	52	学生のボランティア活動を奨励、支援しているか	
意見等	<ul style="list-style-type: none"> ・ボランティアの具体的な場の紹介等、情報をしっかりと与えることが大切である。 ・さらなる活動の拡大は課題となる。 ・地域貢献活動の推進が図られている。 ・メディカルラリー等で社会との接点があり、効果がある。もう少し評価を上げて良いと思う。 ・あくまでもボランティア活動なので、個人としての参加状況の把握は課題である。 ・社会貢献が知識の拡大、経験につながり、人間性も豊かになっていけると良いと思います。 		